

事業の目的

本事業は、区画整理(農地の大区画化・汎用化)及び農業用用排水施設(排水路・排水機場)の整備を一体的に行い、農業生産性の高い基盤の形成と、排水改良による湛水被害を解消することを目的としています。

○農地の大区画化・汎用化

(事業実施前)

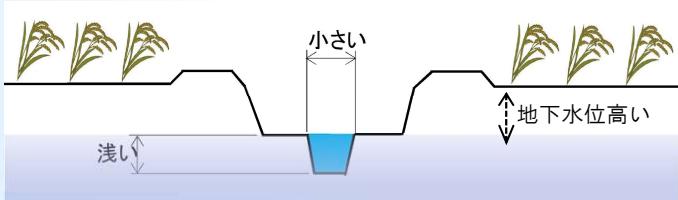


(事業実施後)

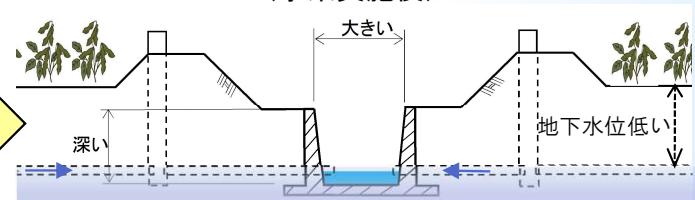


○排水対策の強化(排水路・排水機場の整備)

(事業実施前)



(事業実施後)



事業の内容

関係市町 島根県 出雲市

事業工期 平成30年度～令和11年度(予定)

総事業費 261億円(区画整理131億円、農業用用排水施設130億円)

受益面積 457ha

(うち、453haは区画整理と重複、農業用用排水単独は4ha)

主要工事 区画整理 453ha

農業用用排水 457ha

排水機場3ヶ所(改修2ヶ所、新設1ヶ所)

幹線排水路L=12.5km(改修9.2km、新設3.3km)

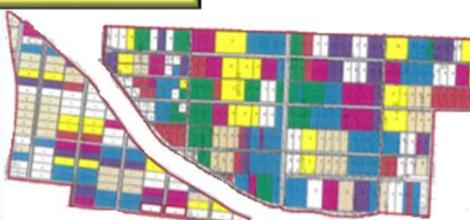
事業の効果

区画整理によるほ場の大区画化等により、担い手への農地利用集積の促進と農作業の効率化を図ります。

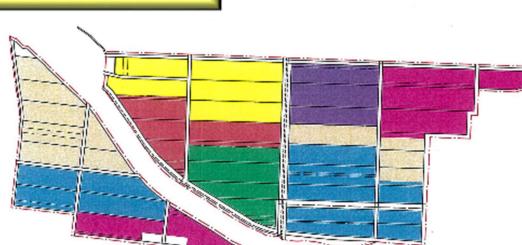
また、区画整理と併せて排水改良を行うことにより、水田の汎用化と農地の湛水被害を防止し、ブロッコリー・小豆等の作付面積を拡大するとともに、農業生産額の増加を図ります。

○担い手の経営体質の強化 集積率72%(実施前)→89%(実施後)

事業実施前

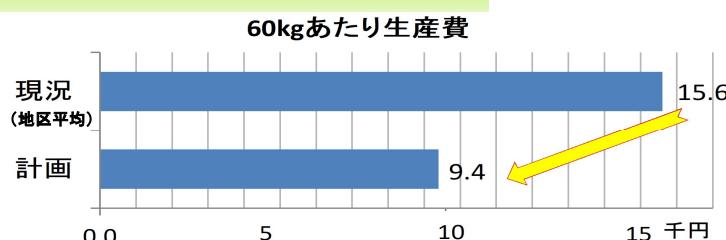


事業実施後



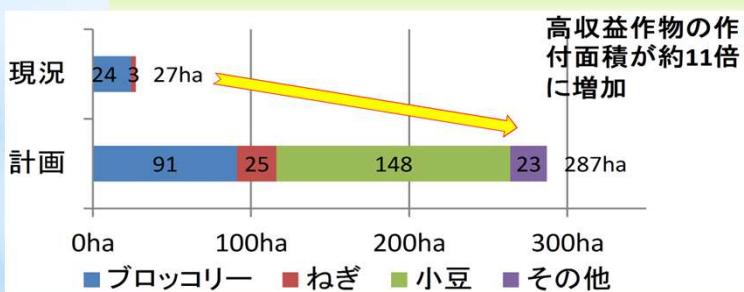
集積イメージ

○担い手による米生産費の低減



米生産額 (60kg当たり) が15.6千円から9.4千円に低減

○高収益作物の作付面積の拡大



高収益作物の作付面積が約11倍に増加

○農業生産額の増大



農業生産額は2.3倍に増加

○出雲ブランドの拡大と6次産業化



かあちゃんブロッコリー



出雲だんだん青ねぎ



出雲産小豆を使用した新商品

地域の取組の支援

地域の農家・農村の所得の大幅な向上、活力ある農村社会づくりに向け、宍道湖西岸サポートセンターの新設や女性・定年帰農者の活躍等を通じ、高収益作物の振興、生産コストの削減、6次産業化を支援します。

小豆



高付加価値化 ・地場産業との 連携

「せんざい」発祥の地・出雲、日本三大菓子処・松江の地域資源の活用



出雲せんざい・和菓子

だんだん青ネギ



出雲ブランド の拡大

園芸農家の連携、施設園芸の団地化等により、ブランド力の向上、新規就農希望者の受入体制の整備



都市圏の専門店、量販店等の実需者のニーズ を捉えながら販路拡大

かあちゃんブロッコリー



産直野菜



女性・定年帰農者等の活躍

・野菜等の加工・直売
(6次産業化)
・活動をとおしたコミュニティ形成



直売所、スーパー・量販店のインショップ

問い合わせ先

農林水産省 中国四国農政局 宍道湖西岸農地整備事業所

〒691-0001

島根県出雲市平田町2112-1 ひらた子育て支援センター2階

TEL (0853) 25-8252 FAX (0853) 63-3952